

第三回北東学連総会議事録

文責 東北大学渉外担当 黒澤祐貴

1. ミドルセレ通過者確認 (敬称略)

女子

長谷川真子(東北大学)

本間実季(東北大学)

高橋友理奈(東北大学)

以上 3 名。

男子

小松栄輝(東北大学)

小林隆嗣(東北大学)

橋本正毅(東北大学)

佐藤俊太郎(東北大学)

坂本譲(東北大学)

横山裕晃(東北大学)

滝川真弘(東北大学)

佐藤誠也(東北大学)

清水敬太(東北大学)

高野証人(東北大学)

半沢守(東北大学)

以上 11 人は確定。

小泉惇平(東北大学)と八木颯(東北大学)が同着で 12 位となったため、どちらがエリートになるか 2 月 4 日までに東北大学内で決めることになった。

以前にも同着でどちらがエリートを走るのか決めなくてはいけないケース(2014 年度北東インカレ)があった。

このときはもう一つのセクションレースだった東大大会の上位者をエリートにした。

今回のケースはセクションレースが 1 本しか行われないことから、同じように決め

ることはできない。

このようなケースがまた発生した時のため規約を作る必要がある。

2. 活動報告

会計 インカレロングのエリート参加費差額返還

事務局長 特になし

3. 来年度ロングセレについて

来年度のロングセレを、東大大会または全日本ロングのどちらかで行うのがふさわしいのか事前にアンケートを取った。

その結果、全大学とも全日本ロングを推した。

来年度ロングセレは、全日本ロングと北東インカレで行われる予定となった。

北東インカレでは、スプリントのセレクションも行われる。

4. 来年度北東学連体制について

各大学の事情や今まで担ってきた役職を踏まえ、来年度の体制は以下のようになった。

幹事長 東北大学

副幹事長 福島大学

会計 岩手県立大学

広報 岩手大学

事業部長 北海道大学

事務局長 宮城学院女子大学

5. 来年度北東インカレについて

実行委員長が橋本航汰さん(東北大学)に決まった。

来年度から北東インカレを北東選手権と融合しないかという案が出ている。

その案に従うと、来年は北海道開催となる。

いくつかメリット、デメリットを挙げると

メリット

- ・参加人数が期待できるためプロマッパーに調査が依頼できる。

→運営する学生の負担が減る。

デメリット

- ・使用されるテレインが4年間クローズになってしまう。
- ・東北開催となるため、セレクションのテレインが限られる。

難しい問題であるため、いずれ各大学に意見を求める。(1月中旬か1月末)

議論の中心は

- ・来年北海道でロングセレを行うのでいいのか
- ・来年以降も北東選手権と融合するのでいいのか

また、開催時期は

- ① 例年通りのお盆の時期
- ② 例年北大大会が行われる9月末(来年は7月開催)

以上2つの案があるが、運営側はお盆の時期の開催で進めていく。

何か質問等あれば、実行委員長まで。

6. 次回北東学連総会について

2017年3月17日(金)インカレミドル開会式後、開会式会場で行う予定